

架けはし

～硬い石屋のやんわり話～



石元石材工業株式会社

神戸市兵庫区菊水町 9-17-6

0120-82-1410

URL <http://www.ishimotosekizai.co.jp>

e-mail info@ishimotosekizai.co.jp



社長の石元孝浩です。このたび発行致しました「イシモトかわら版 架けはし 第1号」をお読み頂きありがとうございます。この「イシモトかわら版 架けはし」はお客様と石元石材工業株式会社の架け橋となるべく、「石」「お墓」「霊園」等の情報発信の他、弊社社員の日常を記した雑記、各種工事の割引クーポン、弊社にぜひお立ち寄りいただきたく、お墓参り用の「線香引き換え」クーポンもご用意致しました。また、本年平成27年は「イシモトかわら版 架けはし」を3回発行する予定にしています。

第2号以降にはお客さまからのご意見やご要望もぜひ掲載させて頂ければと思っております。多数のご意見ご要望をお待ち致しております。

さて、今年には阪神淡路大震災から20年となります。今年には節目の年で震災関連の行事も多く、いろんなものを失った喪失感は20年たった今でも癒える事の無い傷として残っていると思います。ただ、私の次男もこの年に誕生しましたが、新成人の皆様には是非大きく育って行って欲しいと思います。

最後になりましたが、「石の事なら何でも相談してみよう」と言って頂けるような会社を目指し、皆様のお役に立てますよう日々精進していきたいと思っております。



神戸市宮鶯越墓園

申込み受付について

受付期間 平成27年4月20日(月)～5月12日(火)

受付墓園 鶯越墓園のみと思われます

西神墓園と舞子墓園の受付の可能性は低いです。

日付、受付場所については昨年度までの実績を基に当社が推測したもので確定ではございません。

正式な内容は4月中旬に発表の予定です。

申込みから使用許可までの手続きの流れ

申込み受付	平成27年4月20日(月)～5月12日(火)頃
公開抽選	平成27年6月4日(木)頃
使用許可申請	平成27年6月25日(木)、26日(金)頃
当初使用料の納付	平成27年7月24日(金)頃迄
使用許可	平成27年9月上旬



申込み資格

- ① 平成27年4月20日までに6ヶ月以上継続して神戸市内に住所を有する方(住民登録をしている方)
- ② お墓を主としておまつりしていく方
- ③ 使用許可を受けた日から3年以内に墓碑等を建立できる方
- ④ 当初使用料を納期限までに一括納入できる方
- ⑤ 1親等の遺骨があり3年以内に納骨が出来る方(新規区画を申込みの場合)

使用料の一例

	当初使用料	年間使用料
再貸付区画 0.58㎡～		
0.58㎡	= 139200円	3900円
新規区画 3.0㎡のみ		
3.0㎡	= 720000円	3900円

平成26年度分参考

再貸付基地の申込者が増えております！！ 昨年度実績 新規102区画 再貸付351区画

- 再貸付基地においては埋葬する仏様をお持ちでない方でも申し込みが出来るので、自分用のお墓を生前に建てる(寿陵墓)目的で申し込みをされる方が増えています。
- 再貸付基地では場所の指定申し込みが出来るので、希望する地区、広さ、方角等を事前に確認し納得した上で申し込みが出来ます。
- 再貸付基地は基本的に前使用者がお墓を解体撤去したうえで神戸市に正式に返還された場所を再募集している墓所です。

お墓のわからない事…？

あれこれ色んな事

教えて下さい！！



新仏が無いと申し込めないの？

いいえ、1親等の御両親や配偶者、子供さん等の仏様であれば昔に亡くなつていても**申込みが出来ます**。また御遺骨が無くても再貸付区画なら申込み可能です。

自分のお墓を生前に建てるとう縁起

が悪いのでは？

いいえ、全く逆です。仏教では生前に建てるお墓を**寿陵墓**と呼び、生前に功德を行う為、とても縁起が良く長寿を賜れると言われております。

お骨を納める部屋を2つ作れます

か？

はい、可能です。お墓は基本的に一区画に一基しか建てられませんが納骨所を二つにして分けて**納骨する事は可能です**。

車いすでお参りに行ける場所は

ありますか？

はい、現在新たに造成されており新規区画のほとんどが、**バリアフリー**になって来ております。



墓地当選後の書類手続きは

代行してもらえますか？

もちろんです。手続きの代行委任をして頂ければお手伝いさせていただきます。また**現地のご案内**もさせて頂いておりますのでお気軽にお申し付け下さいませ。

田舎からお墓の引っ越しは出来

ますか？

はい大丈夫です。しかし建てられるお墓の**サイズに制限**がございますので事前に田舎のお墓のサイズを計測しておく必要があります。その他、書類手続きの事もありますので御相談下さいませ。

車が無いのですがお参りに行けますか？

はい。墓園**南入口の管理事務所前より毎日無料**墓参バスが運行されており、各地区の入口あたりまで行けます。墓参バスの出発時間は次の通り。

- 9 : 15
- 10 : 00
- 10 : 40
- 11 : 20
- 13 : 20
- 14 : 00
- 14 : 40

日曜祝日も毎日運行中

お墓参り代行サービスについて

当社では色々な御都合にてお墓参りに行けない貴方様に代わってお墓参りをさせていただきます。**墓所の掃除から雑草抜き、お墓の水洗浄をした後にお花と線香を供えます**。作業の前後に写真を撮影し、お参りの報告をさせていただきます。どうぞお気軽にお問い合わせ下さいませ。

御紹介カード

新しく御紹介頂く方

御名前 _____

御住所 _____

TEL _____

御紹介頂いた貴方様

御名前 _____

御住所 _____

TEL _____

墓地名 _____

当社より御連絡させていただきます

鶴越墓園の名所案内

源義経の馬つなぎの松

1184年2月6日（現3月26日）晩、福原に集まった平家10万の軍勢を攻めるため、義経の軍勢がここに集まり、合戦の相談をした。高尾山山頂より眼下を見下ろすと、和田岬の周辺には総大将宗盛と安徳天皇を守る平家の軍勢が篝火をたき、火の海を作っていた。義経は平家を作る火の海を海女が藻塩を焼いている火とみなし、「海女に逢うのに武具はいらない」と笑い飛ばした。山頂から戻った義経が、武者たちが囲む焚火の中に加わると、枝ノ源三が、翁と16才と13才の兄弟を連れてきた。義経はこの兄弟を道案内人として戦う事に決め、70騎の逆落としての部隊と、逆落としを助ける岡崎四郎の軍勢とに分けた。翌朝、僅か70騎で10万の平家を敗走させる（鶴越の逆落とし）と呼ばれる有名な戦が行われた。無数の軍勢に立ち向かう勇氣と、危険な崖から逆落としをした義経の勇氣は後々まで語り継がれている。後に、ここは「義経公御陣の跡」と呼ばれ、ここにあった古松を「判官松」または「義経馬つなぎの松の跡」と呼び伝え、昔の人が大切にしていたのです。

文責 兵庫歴史研究会

現地案内

鶴越墓園内もくれん地区北側にある高尾地蔵尊の入り口。案内板を目印に。



旅日記 台湾の思い出

台北に2泊3日の旅行に行ってきました。食べるものはやはり有名な小龍包が美味しかったです。スープがおいしい入った小龍包ーおいしさの秘訣は黒豚を使っているからだそうです。

また、タピオカ入りマンゴーかき氷も美味しかったです。タピオカは芋のデンプンで出来ていて、黒くて大きくなかなり食べ応えがあります。またそのお店で釈迦頭という果物を食べました。

これはお釈迦様の頭の形に似ているので和名を釈迦頭と言っています。白い実の中に黒い種がありますが、実は熟れた柿のような甘い味がしてとても美味しかったです。

また、台北郊外の山の上のレトロな町並みの九份という所があり、そこにアメチャロウ（阿味茶楼）という有名なお店があります。おいしいウーロン茶とお菓子を出してくれるのですが、そのお店は宮崎アニメの「千尋の神隠し」の湯屋のモデルになったと言われている建物です。



でもとても眺めが良く、雰囲気もすごく良かったです。初めての台湾旅行でしたが、期待通りの美味しい食べ物や珍しい食べ物、また初体験の台湾式シャンプーなど内容盛りだくさんの旅となりました。また次に行く機会があれば、台北以外にも行ってみたいと思います。

事務 藤森千鶴



寺院墓地情報

すぐに御紹介可能です

西区潤和の寺院墓地

市営地下鉄伊川谷駅より
車で15分

北区山田町の寺院墓地

神鉄箕谷駅より 車で5分

兵庫区三川口町の寺院墓地

JR兵庫駅より 徒歩8分

詳細はお問い合わせ下さいませ。

イシモト

10%割引クーポン

このクーポンを御呈示頂けましたら当社通常価格より10%の割引をさせていただきます。（ご利用は1回のみ）

有効期限 平成27年8月末日

対象は工事を伴う御注文に限られます（石彫品や花筒など小売品対象外）

石元石材工業株式会社
0120-82-1410

このクーポンを切り取って保管下さい。裏面は鶴越墓園墓参バスの時刻表となっております。

イシモト

線香引き換えクーポン

このクーポンと引き換えにお参り用のお線香1束と交換させていただきます

有効期限 平成27年8月末日

無効

石元石材工業株式会社 本社
0120-82-1410

石元石材工業(株) 鶴越支店
078-691-7174

線香の引き換えは本社及び鶴越支店でもさせていただきますのでお参りの際には是非お立ち寄り下さいませ。